

# 性的マイノリティに関する 市民意識調査報告書

## 概要版

このアンケートは、性的マイノリティに関して効果的な施策や事業を検討する基礎資料を得るために実施しました。

調査地域	岡山市全域
調査対象	18歳以上の男女（住民基本台帳記載者）
標本数	3,000人
抽出方法	単純無作為抽出法
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和元年8月1日（木）～8月31日（土）
回答数	1,089人

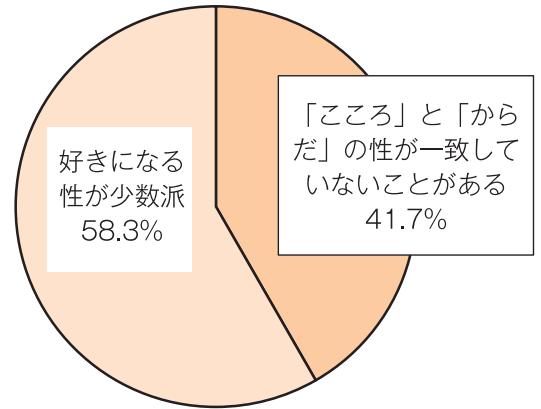
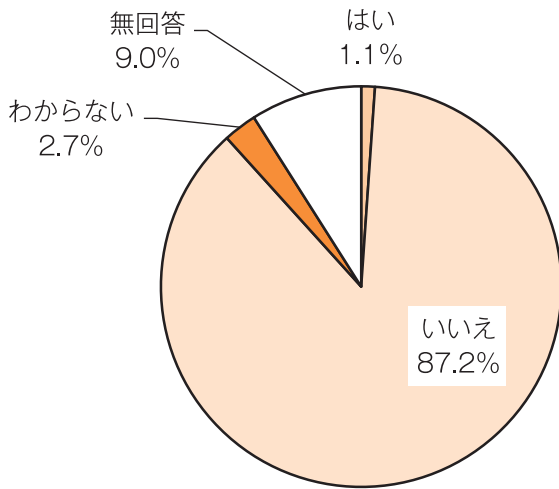
### 性的マイノリティとは？

同性愛や両性愛の性的指向をもつ人や、「こころの性」と「からだの性」が一致していない性別違和のある人など、性のあり方（セクシュアリティ）において、少数派である人々のこと。

# 1 本市における性的マイノリティの現状

**問1** あなたは、性的マイノリティの当事者だと思えますか？ただし、答えたくない場合は無記入でも構いません。

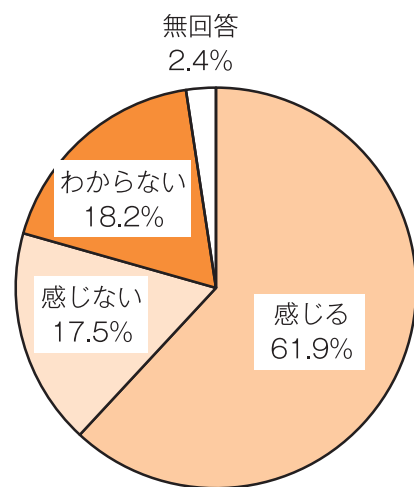
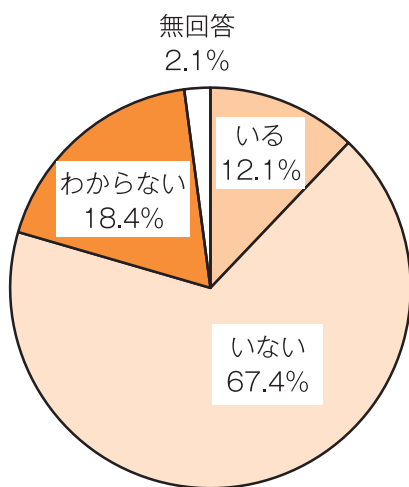
**問1-1** 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。あなた自身に近いものはどれですか？  
(問1で「はい」と答えた12人が対象)



1.1%の人が当事者であると回答している。当事者かどうかわからないとの回答も2.7%あった。「好きになる性が少数派」と回答した人の割合は6割弱、「『こころ』と『からだ』の性が一致していないことがある」と回答した人（トランスジェンダー）の割合は約4割だった。

**問2** あなたの周り（家族、友人、職場や学校の知人等）に、性的マイノリティの当事者はいますか？

**問3** あなたは、性的マイノリティに対する社会的な関心が高まっていると感じますか？



約7割の人が、周りに「いない」と回答している。「わからない」との回答も約2割と高くなっている。

約6割の人が関心が高まっていると感じている。背景として、LGBT当事者であるタレントの増加や、報道・ドラマなどから情報を得る機会が増えていることが考えられる。

## 2 当事者の現状

問4 性的マイノリティの当事者が困っていることは、特に何だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

- 性的マイノリティに対する差別や偏見があること…64.4%
- 自分の性を明かせないことで精神的負担があること…54.3%
- 性的マイノリティに対する理解が不足していること…54.1%

問5 「こころ」と「からだ」の性が異なる性同一性障害の人々（トランスジェンダー）の生きづらさは、特に何だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

- 更衣室やトイレが男女別のことが多く入りにくいこと…58.1%
- 学校・職場で男女別の制服を着ないといけないこと…41.8%
- 公的な書類等の性別欄に記入する必要があること…28.3%

問6 同性愛や両性愛のような性的指向がマイノリティである人の生きづらさは、特に何だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

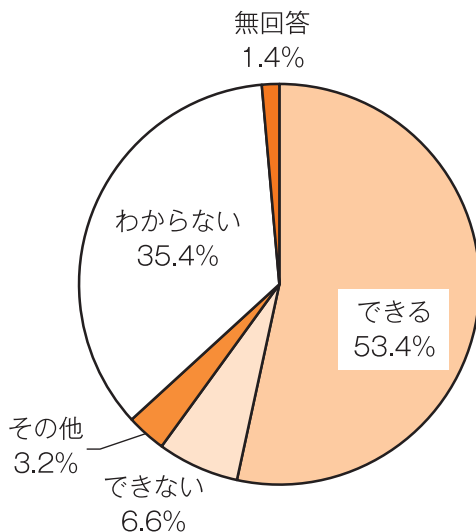
- パートナーやその子どもが法的な親族と認められないために、行政等における各種給付やサービス等を受けられないこと…45.4%
- 同性婚が法的に認められていないこと…45.0%
- 同性愛者が身近にいるという認識のない人が多いこと…37.4%

性的マイノリティ全体としては、社会の理解不足が困難の要因となっているという結果になった。性自認や性的指向については、社会制度の見直しが必要であるとの意見が多い。

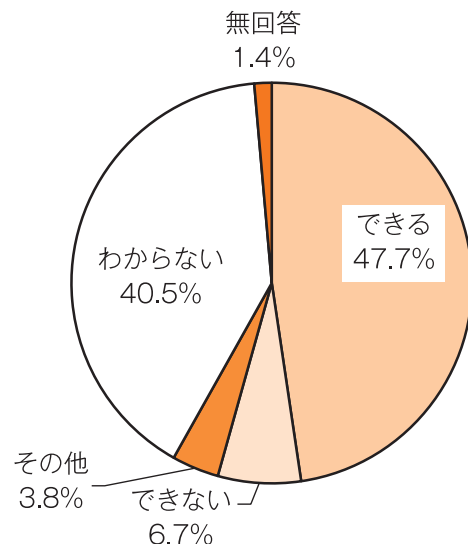


## 3 周囲の反応

問7 あなたが同じ学校や職場の人、友人から性的マイノリティだとカミングアウトされた場合、いままでどおり付き合うことができますか？



問8 あなたの家族から性的マイノリティだとカミングアウトされた場合、いままでどおり接することができますか？



家族以外の人からのカミングアウトより、家族からのカミングアウトの方が、やや受け止めがたい傾向がある。

## 4 問題解決に必要なこと

問9 性的マイノリティ当事者に対する国・地方自治体の対策として、特に何が重要だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

- 専門の相談窓口の設置…44.4%
- 福祉のサービスの利用や、病院での同意書等の記入に際して、法律上の家族や婚姻関係と同様の扱いを受けるようにする制度…41.5%
- パートナーシップ証明書の発行等、社会制度の見直し…35.7%

啓発よりも当事者支援や社会制度の見直しを望む意見が多い。

問10 学校における取組として、特に何が重要だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

- 教職員を対象にした研修の実施…53.5%
- 子どもたちへの学習機会…47.6%
- トイレや更衣室等、教育現場での配慮…37.9%

教職員、保護者への啓発・理解促進と子どもたちの学習が大切であるとの意見が多い。

問11 企業における取組として、特に何が重要だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

- 性的マイノリティに対するハラスメント・差別の禁止の明文化…47.0%
- 従業員を対象にした研修の実施…39.9%
- 性別によらず使えるトイレ等の設置…36.3%

社内規定や啓発による差別禁止が必要との意見が多い。

問12 市民に求められることとして、特に何が重要だと思いますか？

(上位3つのみ掲載)

- 性的マイノリティについて関心を持ち、正確な知識を得ること…64.8%
- 性的マイノリティを傷つけるような悪口や冗談を言わないこと…48.7%
- 批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしたりしないこと…47.3%

理解促進が重要であり、また、正しい知識を持つことにより、身近な差別的言動をなくしていくことが大切であるとの意見が多い。

令和元年度「性的マイノリティに関する市民意識調査」集計結果の一部を紹介しています。

インターネットで詳しい情報をご覧ください。

岡山市性的マイノリティに関する市民意識調査

検索

作成 岡山市市民協働局市民協働部人権推進課